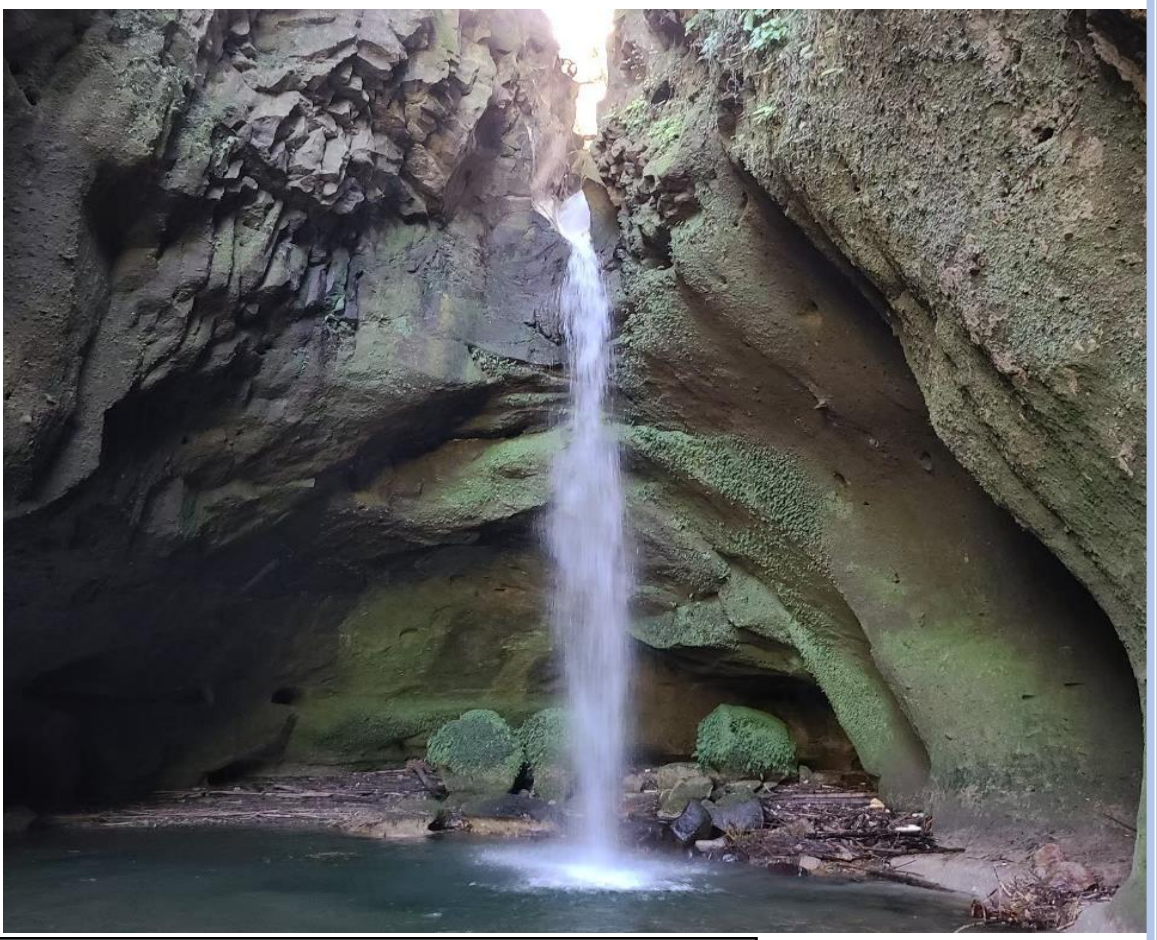
公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
Kagoshima Physical Therapy Association

No.97(136)
2023.2.27 発行

総会員 2,584 名（2／27 現在）URL:http://infokpta.com/

E-mail:infokpta@po.minc.ne.jp



長野滝(薩摩川内市)

2023 年燃ゆる感動かごしま大会
　コンディショニングルーム運営協力者募集・・・・・・・2～3
公開講座　報告（公益事業部）・・・・・・・・・・・・・・・4～5
研修会報告　（学術部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
研修会報告　（専門部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～9
研修会報告　（障がい児・者福祉部）・・・・・・・・・・・・・10
鹿児島・奄美地区研修会・症例検討会　報告・・・・・・11～12
姶良地区症例検討会・研修会　報告・・・・・・・・・・・13～14
北薩地区症例検討会　報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
南薩地区症例検討会　報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
大隅地区症例検討会　報告・・・・・・・・・・・・・・・17～18
私と私の職場紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
私のおすすめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
事務局より・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・21～22

◆発行：公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
◆発行人：平名章二
◆編　集：原口拓人
◆事務局：〒890-0063
鹿児島県鹿児島市
鴨池１丁目 48-25
ＴＥＬ：099(203)0860
ＦＡＸ：099(203)0865

燃ゆる感動 かごしま大会
特別全国障害者スポーツ大会　熱い鼓動 風は南から 2023

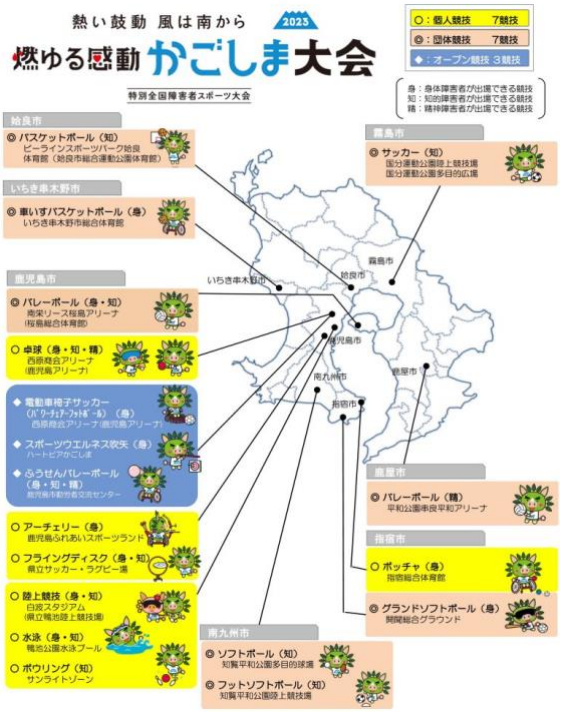
2023 年燃ゆる感動かごしま大会(特別全国障害者スポーツ大会)での コンディショニングルーム運営協力者募集

鹿児島県理学療法士協会会長　平名　章二
鹿児島県理学療法士協会専門領域理事　大渡　昭彦

2023 年 10 月 28 日(土)～10 月 30 日(月)に鹿児島県がホスト県になり燃ゆる感動かごしま大会(特別全国障害者スポーツ大会)が開催されます。 全国障害者スポーツ大会は、各都道府県・指定都市から約 3,500 人の選手が参加する、日本最大級の障がい者の競技大会です。鹿児島県下、14 会場にて 15 競技が開催されます。

鹿児島県理学療法士協会として、公式練習日(10/27(金))および大会期間中(10/28～10/30)に

○陸上競技
　(白波スタジアム, 鹿児島市)
○水泳
　(鴨池公園水泳プール, 鹿児島市)
○車いすバスケットボール
　(いちき串木野市総合体育館, いちき串木野市)
○ソフトボール
　(知覧平和公園多目的球場, 南九州市)
○フットベースボール
　(知覧平和公園陸上競技場, 南九州市)
○サッカー(知)
　(国分運動公園陸上競技場, 霧島市)
○ボッチャ(身)
　(指宿総合体育館)



計 7 競技(7 会場)

のコンディショニングルーム運営に携わる予定です。この運営を行うにあたり、担当する 7 会場で約 3～4 日間で延べ人数 200 名弱(概算)の会員の協力が必要です。

コンディショニングルームとは、参加する選手が万全の状態で競技に臨めるように、競技付帯サービス提供

として「選手のからだをほぐしたり、競技前後の筋肉の疲労回復を図ること」を目的に設置されます。

コンディショニングルーム運営協力者の申し込み先は、
(https://forms.gle/sTRqKYXixNk8tvS2A)もしくは、右の二次元バーコード
にアクセスいただき、登録をお願いいたします。

鹿児島県側への報告等の関係もあり、

申し込み締め切り:令和 5 年 2 月 28 日(火)

その後の追加募集は現時点で行う予定はありませんので、ご注意ください。
また、2020 年度に開催予定でした第 20 回全国障がい者スポーツ大会時にご協力者で申し込みいただきました方も登録情報取り消しになっておりますので、改めまして再度こちらに登録していただきますようにお願い申し上げます。

問い合わせ先

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会　専門領域障がい者スポーツ領域担当
鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻　松田　史代
E-mail:kpta.zensupo2020(@)gmail.com
(迷惑メール防止のため、送信時は(@)の( )を外して送信下さい)

公益事業部　公開講座　報告

公益事業部　理事　神田勝利
部長　岩森　俊
土井　敦

令和 4 年 12 月 18 日に公開講座「看護介護職向けの動作介助研修会」を行いました。研修の内容を考えると、対面式の実技研修を行いたいところでしたが、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、昨年に引き続き、フルオンライン形式での開催となりました。

3 時間の長い時間ですので、なるべく、現場に即した内容を意識し、概論から始まり、実技のポイント、入浴場面での介助の工夫、介護のデジタル化と効率化などを、講師 3 名で分担して担当しました。特に実技の説明では、視覚的に分かりやすい内容を意識するため、動画や写真などを多く用いて行いました。

参加者は 25 名と少なく、課題を残す結果となりましたが、参加者のアンケート結果(後記)を見ると、おおむね好評を頂けたようです。参加者の職種は看護介護職等が 7 割、セラピストが3割と例年に比べ、セラピストの参加も多い印象でした。セラピストは、患者様、利用者様の介助に関して、自施設で指導役に回る機会も多いと思いますので、今回の研修参加者の増加につながったと思われます。今回、グループワーク等は設けなかったのですが、今後、セラピストと看護、介護職を交えたグループワーク等行うと、多職種連携を含めた学びにつながるのではと期待しています。

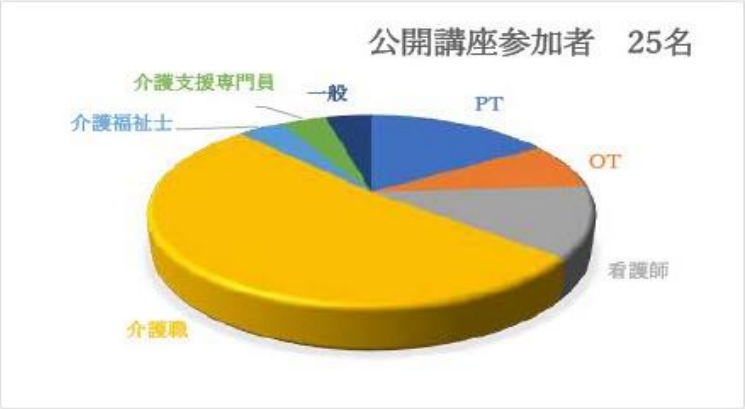
看護、介護職の参加者においても、介護技術についてはもちろんですが、今後、医療福祉施設において喫緊の課題である、人材不足の問題を、腰痛予防等の労働環境改善の観点や、デジタル化に伴う業務の効率化の視点から、多職種で一緒に考えるきっかけになったことは非常に意味のあることだったと思います。

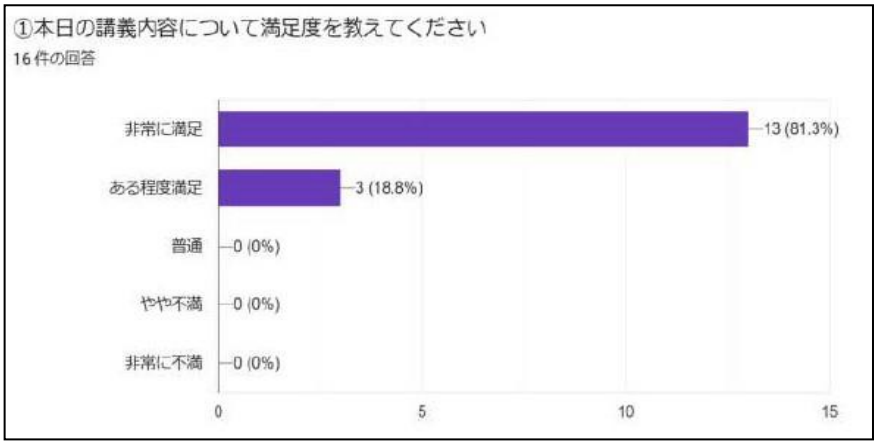
今回の課題は、先述しましたように、参加者が思うように伸びなかったことがあげられます。広報や現場スタッフさんが聞いてみたいと思うような内容について、継続的に検討していきたいと思います。

また、研修の運営として、やはり対面実技を期待する声もありますので、今後、コロナの感染状況、感染症分類の情勢を鑑みながら来年度以降、対面実技や多職種でのグループワーク等の開催が実現できればと思います。ただ、今回オンライン研修の強みである離島からの参加者も数名いらっしゃいましたので、鹿児島の地理的な問題による学習機会の格差改善の一助となるべく、対面形式とオンライン形式のハイブリット、もしくはアーカイブ配信なども検討していければと思います。

来年以降も公益事業部として、地域社会の皆様に少しでもお役に立てるような研修を企画していきたいと思います。一緒に活動してくださる方、実技研修等の講師等、お手伝いいただける方を募集していきますので、ぜひ、ご連絡、ご応募ください。

(公益事業部　岩森俊　木藤正暁　土井敦)





参加者の声(アンケートより一部抜粋)

・動画などを使い解説もわかりやすかったです。訪問介護でも在宅での移動、移乗介助にてこずることがあり、常にお互いが安心で安楽にできるにはと思いながらの介助でした。

・写真、動画がたくさんあり分かりやすかった。組織作りのポイントが良く分かった。

・ボード、シートの使用や、移乗の仕方が改めて勉強になった。

・介護で悩んでいた利用者さまの反り返りについてビデオで繰り返し流し丁寧に説明してもらったので早速明日チャレンジし、成功したら他の職員と共有したいと思いました。 腰痛もちなので勉強会などでも腰痛について習うのですが入浴での気をつけることを今回学べて勉強になりました。

・日常の業務の中で、療法士と看護師が話をする時間を作れない時もあるので、基本動作を不安に感じながら現場で取り組んでいるスタッフもいると感じています。今回の研修内容が動画で視聴できていたのでとても勉強になりました。

・もっと看護介護士に受講していただけるように、広く広報してほしい。

・今回、訪問看護ステーションの理学療法士として参加させていただきましたが、私にも改めて復習にもなり、また実際にその様な利用者に対して取り組んでみたいと思える内容でした。

・このご時世の中、非常に難しいですが、目の前でレクチャーされたり、自身で模倣したりと実際に目にするとより身につきやすいと感じました。

研修会報告（学術部）

学術部
川田 将之

タイトル:脳卒中に対する歩行トレーニング　基礎から実際
講師:大畑 光司 先生(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)
日時:2022 年 12 月 18 日(日) 9:30 ～ 16:40
参加者:64 名

昨年の 12 月に令和4年度学術部研修会が開催されました。全て Zoom を使用したオンライン形式での講習会となりました。休日にも関わらず、多数の会員にご参加いただきました。
今回の研修会では、歩行のバイオメカニクスや歩行に関わる制御、中枢神経疾患による影響等の理論的背景や、実際の歩行に対する介入とその効果といった実践的な内容までご講演いただきました。また、参加者からの質疑応答も活発に行われ、有意義な時間になったと思います。
大畑先生のご講演でのお言葉ですが，理学療法士には科学的に適切な介入を選択し、対象者に提供する義務と責任があります。そのためには、常に研鑽を続け知識と技術をアップデートする必要があります。現在、学術部では来年度の研修会に向けて準備を進めております。多くの方のご参加をお待ちしております。

研修会報告（専門部）

専門領域研究部理事　大渡　昭彦
部長　松田　史代
部長　牛ノ濱政喜

「神経系研修会」

担当：上橋　秀崇（豊島病院）

令和5年1月22日（日）、「神経系理学療法の基礎とニューロリハビリテーション」をテーマにオンラインにて開催しました。当日は25名の受講者で、講師は豊島病院の前田先生と、私、上橋が講師を務めさせていただきました。前田先生からは神経系理学療法の基礎を中心に数多くの文献・論文から読み解いた内容を分かりやすくお話させていただきました。私はニューロリハビリテーションについて、頭頂小葉における5野7野の機能や、脳の可塑を促す考え方・治療についてお話をさせていただきました。

今後も会員の皆様の日々の臨床に活かせる内容や、ディスカッション等行える研修会を開催していきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

「循環器系研修会」

担当：中尾　周平（鹿児島大学病院）

令和5年2月5日（日）、「内部障害と骨格筋の関連性について」をオンラインにて開催し、38名が受講されました。講師は野島丈史先生（鹿児島大学病院）、菅原直美先生（天陽会中央病院）、小野田哲也先生（霧島市立医師会医療センター）にお務めいただき、それぞれ急性期心疾患、心不全、糖尿病の骨格筋の関連性について最新のエビデンスなどを引用して分かりやすく説明いただきました。

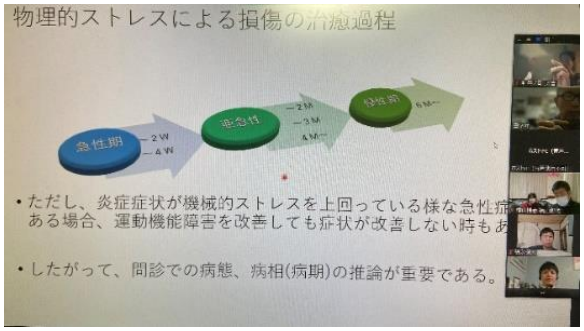
受講者からは、「急性期でせん妄症状など意思疎通が十分図れない場合にはどのように身体評価を行えば良いのか？」、「心肺運動負荷試験ができない場合にはどのような対応が望まれるのか？」、「臨床でどのように応用したらよいか？」、「血糖のコントロールが不良な患者さんにはどのように理学療法をすすめていけば良いのか？」、などの質問や感想をいただき、有意義な研修会となりました。

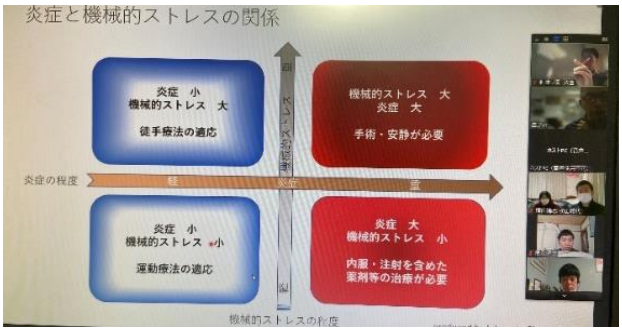
来年度も循環器疾患をテーマとし、対面（あるいはハイブリッド）での講義を企画しております。多くの方々にご参加いただけますと幸いです。

「運動器系研修会」

担当:牛ノ濱　政喜(ちゅうざん整形外科内科胃腸内科)

令和 4 年 11 月 23 日(祝)にZOOM にて、今村総合病院スポーツ整形外科の白尾泰宏先生にお願いいたしまして、「身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法(upper quarter 編)」というテーマで開催いたしました。参加人数は43名でした。前半は頸椎疾患、後半は肩関節疾患を具体的な症例を提示していただき、動画で実技場面を解説していただきながら、評価からクリニカルリーズニング、アプローチまで丁寧に解説していただきました。患者様にかかっているストレスが「炎症性」なのか「機能的」なのか、病期は「急性期」、「生活期」、「慢性期」なのか、理学療法の「適応」、「不適応」の判断など、症状の確認、画像評価、理学療法評価の重要性が再確認できました。例年では実技中心の講習会なのですが、今回は先生が臨床を行う上で考えている理論が詳細な説明と共に紹介されて、非常に興味深い内容となっておりました。また最後には参加者からの多数の質問にもお答えいただき、たくさんのアドバイスをいただきました。





「生活環境系研修会」

担当:戸田　博之(ひさまつクリニック)

令和4年11月13日(日)、生活環境支援系研修会「高齢期の理学療法～デジタル化も含めた施設の現状と実践について福祉用具と生活環境支援～」をオンラインで開催し、31名が受講されました。講師の岩森俊先生より、高齢期特有の心身の変化、その評価、アプローチなど広範囲の内容を事例や動画を交えた講義があり、参加者アンケートでもわかりやすい内容だったとよい評価を頂きました。

「高齢者のリハビリに対する認識を改める機会になった」、「評価に関して、自分が行っている事や不足分等の確認になった」、「家屋調査での視点など活用できそう」などの感想を受講者からいただき、有意義な研修会となりました。

参加いただいた受講者の皆様、研修開催にあたり企画運営に携わってくださった皆様、ありがとうございました。日々の臨床に活かせる情報を発信できるよう今後も企画してまいりますのでよろしくお願いいたします。

「障がい者スポーツ系研修会」

令和5年1月26日(木)19:00～20:30で、専門領域「障がい者スポーツ系」の研修会を開催しました。

今年は、鹿児島県で待望の国民体育大会・全国障がい者スポーツ大会があります。鹿児島県理学療法士協会としては、資格審査とコンディショニングルーム運営に協力依頼があり、今回は、コンディショニングルーム運営の協力を検討されている方を主に対象として、テーマ「「全国障がい者スポーツ大会とコンディショニングルーム運営とは」の研修会を企画しました。

平日の夜の開催でしたが、51名の方に参加いただきました。鹿児島ではじめて開催される全国障がい者スポーツ大会を、ホスト県として盛り上げていけたらと思います。コンディショニングルーム運営の協力者は2月末まで募集しております。たくさんの方のご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

研修会報告（障がい児・者福祉部）

障がい児・者福祉部 部長 小山尚宏

「令和４年度 第２回発達サポート研修会」

日時：令和4年度11月5日(土) 10:00～11:30
形式：Web開催(ZOOM)
テーマ：小学校で取り組む「これからの健康教育」
　　－ コロナ禍で加速する、子どもの姿勢や動きの変化 －
講師：馬場病院　理学療法士 小牧隼人 先生
対象：県内の小学校教諭 等
参加者：計30端末42人(1端末から複数人参加を含む)

障がい児・者福祉部では、主に一般の方を対象に年2回の研修会を開催しています。

今年度第2回目の研修会は、県内全域の公立小学校の教諭を主な対象として、484件の小学校に対して、当部会部員および事務局の協力のもと、FAXにて広報を行いました。30端末からの参加があり、離島など様々な地域から参加をいただきました。

講師の小牧先生には、前半は学童期の身体や成長の特徴について、後半は小牧先生が取り組まれている健康教育および小学校で取り組める健康教育について、ご講演いただきました。

現代社会における子どもたちの運動器の問題について、単に運動の提供という関わりではなく、先生・児童が自立的な身体活動実践のための態度や能力を育成していくようなフィットネス教育という視点からも説明していただき、参加者それぞれが大変学びのある機会となりました。

学校保健分野は近年大変関心が高まってきており、健康教育に対する介入の必要性も高いため、今後も障がい児・者福祉部として、子どもたちや教諭、保護者に適切な情報発信ができるよう、広報の方法なども工夫しながら、より良い研修会を企画・開催していきたいと思います。

今後とも障がい児・者福祉部をよろしくお願いいたします。

鹿児島・奄美地区　研修会・症例検討会　報告

鹿児島地区長
八反丸リハビリテーション病院　五十峯淳一
厚地リハビリテーション病院　東　幸太

「鹿児島地区研修会報告」

2022年度の鹿児島地区研修会を12月10日にWeb開催致しました。

講師はクオラリハビリテーション病院の鈴東　伸洋　先生(脳卒中認定理学療法士)に依頼致し開催いたしました。

テーマは『脳卒中患者への個別治療の組み立て方』

～みなさんはどういった考え方でリハビリテーションを組み立てていますか？～

というテーマで御講演頂きました。

テーマにつきましては事前に鈴東先生と話し合い、私自身(地区長　東)が卒後臨床を経験していく中で、どのタイミングで歩行を開始すべきなのか？この患者の歩行を獲得する為に何が必要なのか？細かい評価・分析など若いころに悩んでいた話を鈴東先生としていく中で、その組み立て方のヒントになればという事で今回このテーマに決定しました。

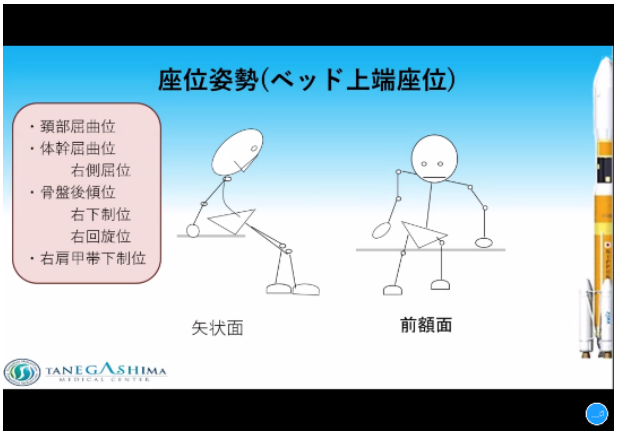
昨年に引き続きコロナ禍でWebでの地区研修会となりましたが、参加者30名と脳血管障害後遺症患者に対する理学療法の治療の組み立て方について深く勉強する機会となりました。鹿児島地区はこれまで研修会は、若い会員の方でも即、臨床で応用できるような実技主体の研修会の内容で開催しておりました。Web開催の制約があるものの、今回は鈴東先生の臨床場面も動画で流す形でどういった動きを観察してどのように評価しているのか？実際の実技研修に近い状況で開催できたのではないかと思います。脳卒中の治療という事で重要な神経系の話、近年の研究論文などをご紹介いただき、私達『理学療法士』がどのように評価から治療介入に至るプロセスをエビデンスに基づきお話しいただき大変充実した内容ではなかったかと思います。鈴東先生の講義は、実際の先生の臨床体験したケースからの体験など盛り沢山でお話しいただきました。脳卒中患者様は理学療法士であれば必ずと言ったぐらい理学療法現場では接する機会がある疾患と考えます。その疾患の介入について認定理学療法士である先生の考え方を学ぶことができ、私共も大変参考になる研修会となりました。今後も鹿児島地区は症例検討会、研修会と鹿児島地区会員に限らず興味が持てる内容で研修会を企画していきますのでご参加の方宜しくお願い致します。

「鹿児島地区症例検討会報告」

1月13日、19:00～　第2回鹿児島地区症例検討会をzoomにて開催いたしました。

今回の症例検討会はE-1神経系症例検討会とE-2運動器系症例検討会を同時開催という形で行いました。症例数と参加人数はそれぞれE-1神経系3症例、参加人数15名、E-2運動器系1症例、参加人数17名でした。今年度より新制度になり今回発表して頂いた4名の先生方はいずれもポイント対象外でありましたが、症例を提示して頂いたことに本当に感謝しております。1症例30分以上となったことで当初は運営面でも心配しておりましたが、参加された先生方からのご意見やアドバイス等を多くいただき活発なディスカッションができたのではないかと思っております。今年度反省する点が多々ありましたので、来年度の開催に活かしたいと思います。ご協力ありがとうございました。

「左脳幹部アテローム血栓性脳梗塞を呈し意識レベルが著しく低下した一症例」 ～座位能力の改善により経口摂取につなげるための介入～ 種子島医療センター　　鬼塚　楓
「脳梗塞後、歩行能力低下に対する促通反復療法と歩行補助具の効果 ～より安全な移動手段の獲得を目指して～」 種子島医療センター　　平田　翔梧
「Wernicke 脳症によるバランス能力低下に対する理学療法の経験」 田上記念病院　　春田　雅貴
「大腿骨顆上骨折により関節内骨折観血的手術後活動性が低下した一例」 ～離床拡大を目指して ABC 分析を用いたアプローチ～ 介護老人保健施設 わらび苑　大木田　晃紘



姶良地区症例検討会・研修会　報告

姶良地区担当理事　弥栄　博文
姶良地区長　増山　泰英

「第1回姶良地区症例検討会の開催報告」

日　時　：　令和4年　11月　17日(水)　18:30～19:15　Web開催(ZOOM)
参加者:40名

テーマ　:『アテローム血栓性脳梗塞による左片麻痺を呈した患者に対する
理学療法プログラムについて』

発表者　:加治木温泉病院　新留拓朗　先生
座長　　:隼人温泉病院　山田隆治　先生
脳卒中／運動器認定理学療法士
履修ポイント　発表者:後期研修　E-1　神経系理学療法学　1コマ履修(今回は非対象)
聴講者:後期研修　E-1　神経系理学療法学　1/3コマ履修
座　長:認定・専門理学療法士更新ポイント　10ポイント

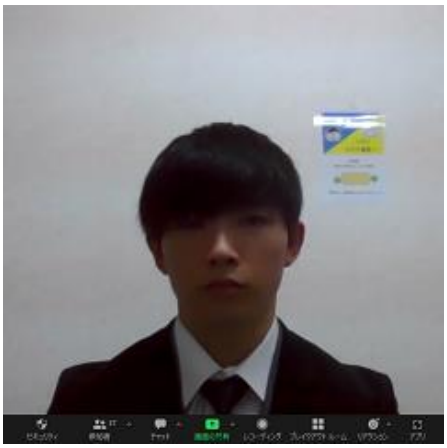
講義概要:

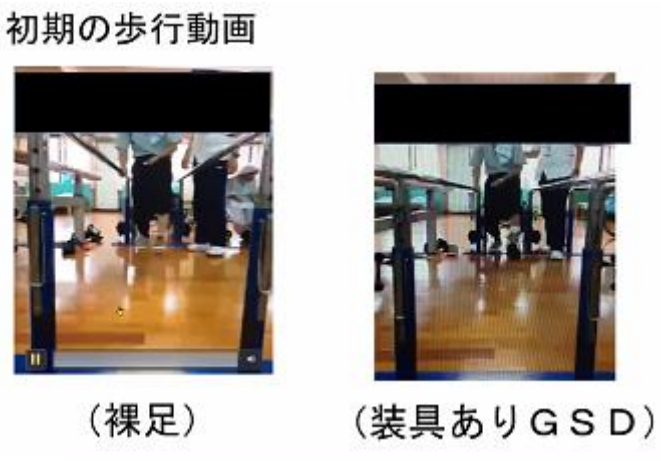
今回、新生涯学習システムに対応した第1回姶良地区症例検討会を開催しました。

内容としては、左片麻痺の患者へ下腿装具の適合を客観的に評価するため、GSD・RAPS・大川原式AFO装着下で筋電図等を使用し評価を実施。FBSでは病棟内歩行自立の判定が出ているが麻痺側膝関節のコントロール不良のため躓き認め、病棟内歩行自立に至っていないという内容でした。

ディスカッションの内容は歩行へのアプローチ方法の検討、患者とセラピストの目標のすり合わせ方などについて意見が挙がりました。

今後も定期的に症例検討会を開催していく予定となっております。姶良地区運営スタッフ一同頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。





「第2回姶良地区症例検討会・第4回姶良地区研修会の開催報告」

日　時　：　令和4年　1月　19日(水)　18:30～20:15　Web開催(ZOOM)
　　参加者:症例検討会21名　　研修会60名

テーマ　:症例検討会『左腓骨近位端骨折による免荷期間後の歩行アプローチについて』
　　研　修　会『発達障害に対する理学療法　～発達性協調運動障害を中心に～』

発表者　:症例検討会　クオラリハビリテーション病院あいら　菊池康司先生
　　研　修　会　明昌会フクダ医院　竹田孝幸先生　認定理学療法士(発達障害)

座長　　:加治木温泉病院　増山泰英先生
履修ポイント
症例検討会　　発表者:後期研修　E-2　運動器系理学療法学　1コマ履修
　　聴講者:後期研修　E-1　運動器系理学療法学　1/3コマ履修
　　座　長:認定・専門理学療法士更新ポイント　10ポイント

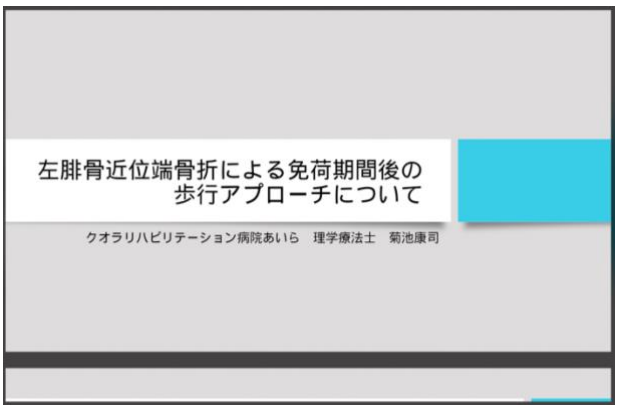
研　修　会　　聴講者:登録更新ポイント:1ポイント119(乳幼児期における発達過程)
　　認定更新点数　　:1点

講義概要

今回は症例検討会・研修会を同日に開催し、参加者は計81名となりました。症例検討会は左腓骨近位端骨折に関する内容を動画を使用しながら評価を行い、治療プログラムの工夫点など臨床の場面に活かせる内容となっていました。

研修会は姶良地区では初となる小児リハに関する内容となっており、成人リハビリとは異なるアプローチ内容や解剖学的な話題などお話頂きました。参加者も60名と多く、小児リハに対する関心の高さが伺えました。

今後も日々の臨床に役立てることの出来る症例検討会・研修会を開催していきます。



北薩地区研修会　報告

北薩地区　地区長
クオラリハビリテーション病院　鈴東　伸洋

2022年度の第1回北薩地区研修会を、令和4年11月16日(水)19:00～21:00、オンライン研修会(zoomミーティング)という形で開催しました。

今回のテーマは、「歩行の基礎知識とアプローチの紹介」で、講師は、私(クオラリハビリテーション病院　鈴東　伸洋)が務めさせていただきました。参加者数は78名でした。

まず、研修会を企画する段階で意識しましたのは、今年度から開始されました新・生涯学習制度を踏まえた、より良い学習の機会の提供と履修しやすい企画立案でした。

試験的ではありましたが、平日に2時間のスケジューリングを行いました。結果としては、多くの方々に参加していただけましたし、北薩地区以外の会員の方が10名も参加してくださいました。このことも新・生涯学習制度やオンラインによる新しい形かと考えております。

研修内容としましては、あらゆる分野で活躍されている会員の皆様に対応するように、臨床的な歩行の問題とそれを解決していくための基礎的知識(解剖学・運動学・神経生理学・バイオメカニクス)が繋がるように講義を行いました。
また、講義で説明した内容を対象者に反映できるように、ビデオによる治療アイデア(実技場面)を提示し、具体的なアプローチを紹介しました。

オンラインという環境下での実技提示で、タッチに仕方や力加減、操作の方向性などをお伝え出来ないのがとても残念でした。また、対面での研修が可能になれば、会員同士での実技練習も行い、知識・技術の向上を図っていきたいと思います。

これからも会員の皆様の発展に役立てられるよう、地区研修会を企画していきたいと存じます。
参加してくださいました会員の皆様、本当にありがとうございました。

南薩地区研修会・症例検討会　報告

南薩地区長
馬場病院　原野信人

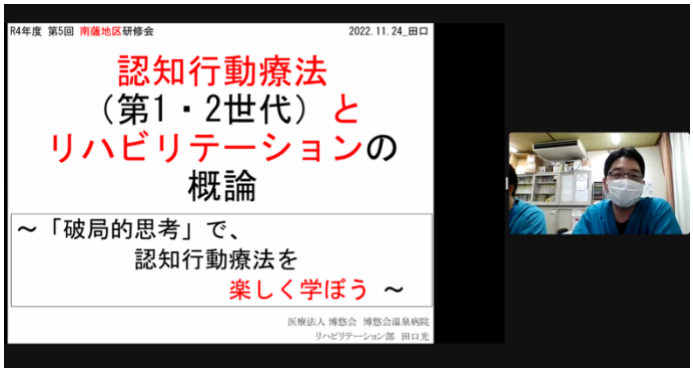
11月24日に第5回目、12月20日に第6回目の研修会と症例検討会をZoomにて開催致しました。

第5回研修会には33名のご参加を頂きました。博悠会温泉病院の田口　光　先生に「認知行動療法(第1・2世代)とリハビリテーションの概論～破局的思考で認知行動療法を楽しく学ぼう～」をテーマに講師を務めて頂きました。田口先生の人柄の感じられる対話形式での新たな形の研修会となりました。

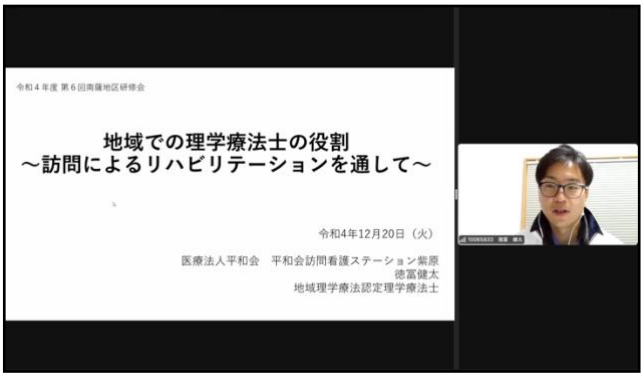
第6回研修会には30名のご参加を頂きました。平和会訪問看護ステーション紫原の徳冨　健太　先生に「地域での理学療法士の役割～訪問によるリハビリテーションを通して～」をテーマに、実際の地域活動や訪問の現場での経験を踏まえたPTの役割ついてご講義頂きました。

いずれの研修会も興味深い内容でありました。講師を引き受けて下さいました田口先生、徳冨先生有難うございました。

第5回研修会



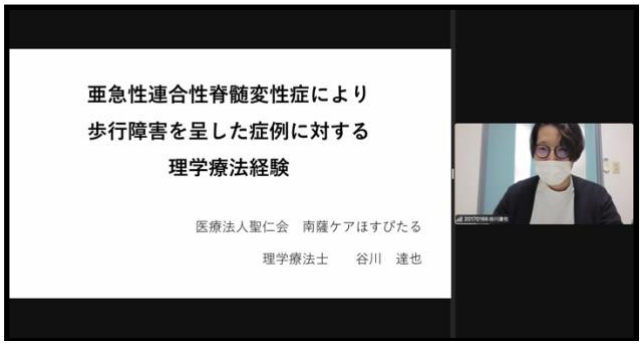
第6回研修会



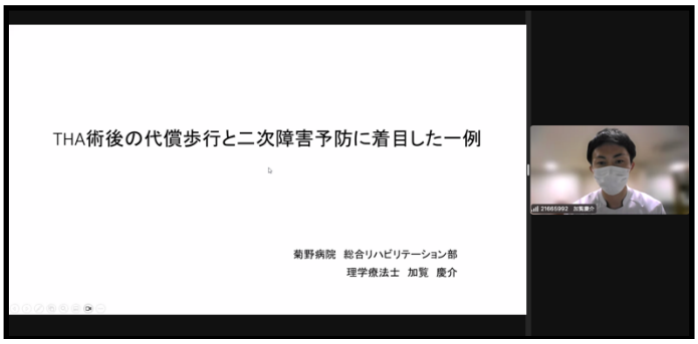
各回1症例30分の症例検討会を実施致し、参加された先生方からのご意見やアドバイスを頂きながらの意見交換が行われました。発表者・座長の先生方有難うございました。

皆様のご協力を頂きながら今年度の南薩地区の活動を無事終了することが出来ました。来年度も南薩地区の活動へのご参加をお願い致します

第5回症例検討会



第6回症例検討会



大隅地区症例検討会・研修会　報告

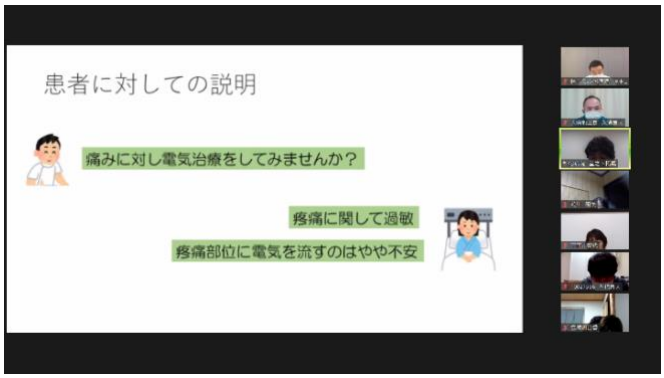
姶良・大隅地区担当理事　榎畑　純二
大隅地区長　永濵　良太

「2022年度大隅地区症例検討会報告」

2022年度の大隅地区症例検討会を11月10日にオンラインで開催いたしました。
新生涯学習制度が始まり最初の大隅地区での症例検討会となりました。7月にも予定しておりましたが、発表者・聴講者とも少なく延期となっており、今回の開催についても心配しておりました。新生涯学習制度開始から半年経過し、ポイント申請対象者となる後期研修履修中の方が増えてきたこともありますが、発表者1名、聴講者41名で開催することができました。

演題として「断端痛に対して経皮的電気神経刺激(TENS)を用いた治療経験」として、恒心会おぐら病院、堂之下琢磨先生に発表していただき、デスカッションを行いました。1症例30分以上の規定での初めての症例検討会でしたが、症例の説明以外にもTENS等についての基礎的な説明も入れていただき、若手の方も理解がしやすかったと思いました。質疑応答も30分を超えても行われ活発な意見交換が図れたと思います。

次回は発表者が増え、講義テーマが多数になることを期待しております。

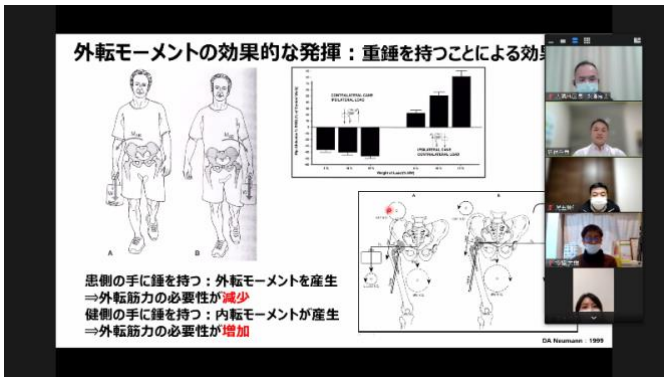


「大隅地区第3回研修会報告」

2022年度の大隅地区第3回研修会を12月１日に完全オンラインで開催いたしました。

今回も、第2回研修会に引き続き恒心会おぐら病院の新保先生にご講演いただき、演題は「股関節疾患患者歩行度動作への理学療法介入」でした。今回の内容は、股関節疾患患者の①歩行分析について。(歩行周期の復習、バイオメカニクスの観点から関節モーメントパワー・連鎖と機構。②理学療法介入について。(症例紹介・運動療法について)、新卒者も多数参加されておられましたの、基本的な説明からしていただけました。講演後の質疑応答でも多数の質問もいただき、活発な講演会活動となったと思います。今回の参加者は52名でした。

今年度の大隅地区事業はこれで最後でしたが、大隅地区会員で登録理学療法士をお持ちでない方の早期の取得をお願いいたします。次年度もポイント取得に必要な研修会・症例検討会を準備致しますので、多数のご参加をお願いいたします。



私と私の職場紹介

医療法人大海クリニック　大海宮崎クリニック
潟山　晃司

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今月の私の職場では、大海宮崎クリニックについてご紹介させて頂きます。大海宮崎クリニックは、薩摩川内市の川内駅に程近い宮崎町に位置し、2019 年 4 月に同市にあります大海クリニックの分院として開院しました。

診療科目としてリハビリテーション科の他に、内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科とクリニックとしては多くの診療科を有しています。併設施設として通所リハ・通所介護・サービス付き高齢者向け住宅・居宅介護支援事業所があります。

本院である大海クリニックは 2001 年 4 月に、薩摩川内市中郷町にて開業。内科、 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、放射線科を持ち、地域に根ざした医療の提供を目指しています。大海クリニックには地域連携室が設置され、本院とも連携しながら在宅医療・地域医療に力を入れています。

内部障害に対して直接的なリハビリを行うことはありませんが、健康診断や長寿健診などをきっかけに当院に来られ、そこからリハビリや介護・身体機能の相談などに繋がることもあり、内科との連携の重要性も感じています。

リハスタッフは PT10 名、OT2 名、リハ助手 2 名で外来リハ・通所リハ・訪問リハの各分野で専門的・横断的に働いています。スタッフは理学療法士免許と共に介護支援専門員や認定理学療法（地域理学療法・脳卒中・介護予防・運動器）を保有し、ライフステージに合わせながら研鑽を進めています。

私個人としては介護保険制度や各サービスとの連携方法など学ぶことの多い日々です。また産業医の先生と一緒に、他の施設へ腰痛検診や安全衛生委員会への参加など産業リハに関する活動も徐々にですが進めています。地域や働き手世代の健康増進により貢献できるよう働いていきたいと感じています。

次は鹿児島市内の三愛クリニックさんです。よろしくお願い致します。

医療法人 大海クリニック
大海宮崎クリニック

私のおすすめ

国分生協病院
田中　幹三郎

理学療法士 3 年目で主に呼吸器・循環器・腎といった内部疾患の方を中心に介入しています。

今回私が紹介する本は、メディックメディア社出版の『薬がみえる　vol.1』です。なぜ薬について知る必要があるのかと感じる理由は、後ほど触れたいと思います。

薬に関しては学生時代ほとんど触れられない内容であったため、一からの勉強でした。名前を丸暗記するのは時間が掛かりますし、文章だけの本は理解しづらく興味が湧きませんでした。そこで、出会ったのがこの本です。生理学や病理学の内容に触れながら、イラストや図表付きで分かりやすく理解しやすかったです。

さて、理学療法士が薬について学ぶ必要があると感じた理由は 2 点あります。

まず、患者さんの病態及び治療方針を把握できるからです。医薬品の名前と薬効を知っておくだけで、今回の入院で何の治療をしているか凡そ見当がつきますし、既往歴も読み取る事ができます。また、いつまで指示が出ているかで退院までの期間も大まかにイメージできます。

二つ目は、リスク管理です。入職時から特に重点的にご指導頂いた点は「リスク管理」です。バイタルサインの項目には含まれていないですが、薬物処方を確認する事から多くの情報を得る事ができ、結果としてリスク管理に繋がると感じています。例えば、副作用を知る事で急変への心構えが出来ます。また、新しい点滴治療や内服が開始されたなら運動処方も昨日と同負荷で良いのか考慮する必要があると思います。

最後に、日々の診療に少しでもお役に立てたら嬉しいです。

事務局より　令和 4 年 12 月 1 日～令和 5 年 2 月 20 日現在受理分

役員行動録(R4.12.1～2.20)

12/2　十島村機能訓練事業(弥栄)

12/5　公開講座(看護・介護職員向け動作介助研修会)　打ち合わせ(東條)

12/7　県折衝分政策検討打ち合わせ(平名)

　介護実習普及センター打ち合わせ(東條)

12/8　JPTA 斉藤会長意見交換会(平名)

12/9　県リハビリテーション施設協議会リハフェス準備委員会(平名)

12/10　日本理学療法士連盟主催研修会(弥栄)

12/12　県健康増進課　訪問折衝(平名)

　3役会(平名・弥栄・生駒・東條)

12/14　理事会(平名・弥栄・生駒・東條)

　鹿児島市スポーツ課訪問対応(鹿児島マラソンについて)(東條)

12/15　第 3 回姶良地区研修会(弥栄)

12/19　国体デモンストレーションスポーツ大会　会議(東條)

12/22　県保健体育課　訪問折衝(平名)

　姶良市地域ケア会議(東條)

12/23　鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)

1/8　JPTA 理事会・理事懇談会傍聴(平名)

1/9　JPTA 理事会傍聴(弥栄)

1/10　3役会＆予算会議(平名・弥栄・生駒・東條)

1/11　理事会(平名・弥栄・生駒・東條)

1/12　事務局来訪者対応(東條)

1/16　令和 4 年度第 2 回教育課程編成委員会・南学園(弥栄)

1/19　第 4 回姶良地区研修会・症例検討会(弥栄)

1/20　十島村役場保健師事務局対応(東條)

　介護職スキルアップ研修講師・社協(弥栄)

1/21　宝友会(平名)

1/26　協会指定管理者研修(初級)(平名・生駒・東條)

1/27　鹿児島南年金事務所対応(東條)

1/28　POS 連絡協議会　地域ケア会議リーダー研修(平名・生駒・東條)

1/29　POS 連絡協議会　介護予防リーダー研修(平名・生駒・東條)

1/31　鹿児島県循環器病対策推進協議会(生駒)

2/1　健康増進関連事業提案聞き取り(事務局)(平名・東條)

2/2　鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)

2/3　臨床実習連絡協議会(平名・生駒・東條)

2/6　3役会(平名・弥栄・生駒・東條)
2/7　7 日学会準備品貸与対応(東條)
2/8　理事会(平名・弥栄・生駒・東條)
2/9　12 回口腔機能管理推進協議会(鹿児島県歯科医師会館)(東條)
2/12　日本理学療法士協会主催第 3 回組織運営強化事業第 3 回 Sipce フォーラム(東條)
2/15　地域リハビリテーション広域支援センター担当者意見交換会(平名)
2/16　第 5 回姶良地区研修会・症例検討会(弥栄)
2/17　政策検討委員会(弥栄)
2/19　第 36 回鹿児島県理学療法士学会(北薩地区)(平名・東條)
2/22　POS 連絡協議会　専門職派遣事業鹿屋市役所(東條)
2/27　鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)
2/28　POS 連絡協議会　鹿児島市保健センター意見交換会(平名・生駒・東條)

研修会参加は会員であることが必須要件です。
入会手続きについては、日本理学療法士協会ホームページをご参照ください。

研修会については、鹿児島県理学療法士協会ホームページ等で案内いたしますのでご確認ください。

～編集後記～

立春が過ぎてもなおまだまだ寒い日が続くように思います。皆様どのようにお過ごしでしょうか。先日、近所を散策していたところ梅の花が咲いているのを見つけて、少しずつ春に向けての季節の移ろいを感じました。寒さの厳しい日は続きそうですが、体調管理に気をつけてお過ごし下さい。

今後もより良いものを発信していけるよう努めて参ります。広報誌に関してご意見等ございましたら、編集部まで連絡をよろしくお願いいたします。

編集部　吉村　優希
E-mail:rihabiri@gyokusyoukai.com